

飼い主のみなさまへ、考えていますか？



（猫が^{しあわせ}幸福に寿命を終えるために・・・）

最近、高齢者や一人住まいの方から、「ペットの猫が飼えなくなった。どうしたらよいでしょうか」との相談を多く受けるようになりました。
飼えなくなった理由の多くは、次のとおりです。

- ア) 飼い主の病気・入院、福祉施設へ入所することになった
- イ) 長年、連れ添ってきた家族が病気になり看病することになった
- ウ) 猫が病気になった
- エ) 猫が増えすぎて、世話ができなくなった

猫の寿命は約16年。飼い主さんは「16年先まで世話ができるか」、飼う前によく考えましょう。

現在は健康でも、飼い主さんは、ご自身が病気や入院せざるを得なくなった時のために、残された猫の行く末を考えておく必要があります。
猫の世話をお願いできる親類や知人、近所の方を普段から探しておくといよいでしょう。

猫もいつかは病気の治療や介護も必要になります。
生涯にかかる費用は、1匹100万円以上ともいわれます（※）

また、猫1組のオスとメスから1年で最大70匹にも増えてしまいます。
みだりに繁殖をさせないように不妊去勢手術をしましょう。手術することは病気予防のメリットにもなります。

猫を飼うには、生態（繁殖能力の強さ）を理解し、飼い主さんの生活環境（家族構成・年齢・健康状態・収入など）に応じて、無理なく責任をもって最後までお世話をしてください。

お願いです

動物を飼う3つの約束を忘れないでください。

- 1 いじめないで
- 2 ふやさないで
- 3 長くお世話を

2025年（令和7年）猫の実態調査	
猫の平均寿命	16.00歳
生涯必要経費（医療費等を含む）	1,796,075円

（※）一般社団法人ペットフード協会資料より抜粋修正



●埼玉県動物指導センター（埼玉県熊谷市板井123）

TEL: 048(536)2465 E-mail: k362465@pref.saitama.lg.jp

●埼玉県動物指導センター南支所（埼玉県さいたま市桜区在家473）

TEL: 048(855)0484 E-mail: k36246a@pref.saitama.lg.jp